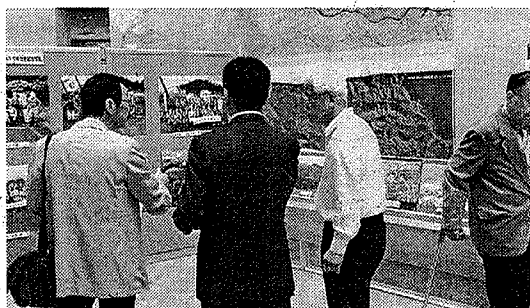


北海道建設新聞

2011年(平成23年)10月19日(水曜日)

21日までパネル展 増毛山道の会と留萌振興局

【留萌】NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)と留萌振興局は、留萌合同庁舎1階道民ホールで



来場者にことしの活動状況を説明する小杉氏(右から2人目)

21日までパネル展を開催している。

同会は、山道の歴史を後世に語り伝え、復元して観光資源に活用しようという活動を展開し、2010年にNPO法人格を取得。活動を本格化したこととは、別荘―岩尾間の16キロで初めて4回の体験トレッキングを行ったほか、山道の一般開放に向けた案内標識200個の設置や増毛山道を紹介する小冊子を発行した。

今回は、ホール床と壁にルート全体を示す大型航空写真をはじめ、山道に関する戦前の記事の史料のほか、体験トレッキングなど昨年からの活動状況を撮影した写真やビデオの展示・上映も行っている。

同会事務局を務めている小杉忠利小杉測量設計

社長は「地域の宝として増毛山道をより多くの人に知ってもらい、この地域における先人たちの生活や苦勞などへの理解を深めてほしい」と述べた上で「まだ全線32キロの復元には時間も労力も要するので、今後の活動に協力を」と、活動への参加、協力を呼び掛けている。

詳しくは同会事務局、電話0164(56)0003、またはホームページアドレス(<http://www.kosugi-sp.jp/sando/top.html>)を参照